

ふくしのお便り

丹波市社会福祉協議会
地域支えあい通信
市島支所 ☎85-0517

2023.

1月

第2回福祉委員研修を開催しました

福祉委員会の2回目の研修を、昨年11月に各地区巡回で行いました。
各自治会の取り組みや、委員の活動についてお話を聞かせていただきました。



～意見交換会より一部をご紹介～

「役を引き受ける時、自分は民生委員と区別がつかなかった」
「いきいきサロンや、いきいき百歳体操に参加したり、運営の手伝いをしている」
「出かける時、何となく近所の様子を気にかけている」
「普段は仕事をしているので、活動できるのは、休日だけと限られてしまい難しい」
「自分の家庭ごみを捨てるついでに、ご近所の分も持っていく。特別なことではない」

自治会長や民生委員児童委員等と協力したり、専門機関につなぐなど、地域でできる支援の活動をしてくださっています。ありがとうございます。

福祉委員

社協独自に依頼している制度で、各自治会から選出を依頼し、社協会長が委嘱しています。2年任期で、市島地域では53自治会64人の方が現在委員として活動されています。

次の3点を主な役割としてお伝えしています。

- ・身近な範囲の見守り
- ・いきいきサロン等への参加、協力
- ・自治会、自治振興会、社協が行う福祉事業への協力

ボランティアグループぽんぽ好

前山地区を中心に活動しているボランティアグループで、平成26年の丹波市豪雨災害後も、災害経験の継承や弁当配達による地域の見守りなどを行いながら、グループ活動を続けておられます。



丹波市社協広報ふくしほっと通信1月号で、ボランティア特集記事に掲載されています。

市島地域 おひとり暮らし高齢者へ 年賀状発送を行いました。



今年も小中学校生にご協力をいただき、市島地域75歳以上おひとり暮らし高齢者192名の方へ年賀状を発送しました。

児童、生徒の皆さんから、心のこもった年賀状を書きいただきました。

届いた方からお礼状が届くなど、喜ばれていました。

社協の出張教室 ～ボッチャ人気です～

社協が地域へ出向いて福祉のお話をさせていただき出張教室があります。お昼のつどいやいきいき百歳体操後のレクリエーションとして「ボッチャ」をされるところが増えていきます。

ボッチャとは、イタリア語で「ボール」という意味です。パラリンピックの競技種目にもなっています。

的球にいかに近づけるかを競うゲームで、年齢など関係なく楽しめるスポーツです。

ボールは持った人だけがわかる、手触りと重さ！
「こういう重さなのね」と、初めて持たれた方の中には、驚かれる方もいます。



回を重ねるほど、作戦を立てるようになり、大胆に投げてみたり・・・
“戦略、技術、集中”です。



ボールを投げる時だけでなく、最後の採点の時までおもしろいスポーツです。

時に数センチ、数ミリの差で勝敗が分かれることもあり、盛り上がります。



(左の写真は、メジャーを使って確認しています。)



立派な門松が飾られていました！

美和地区自治振興会では、コミセン玄関前に約2メートルの立派な門松が飾られていました。

自治振興会役員の方などで協力して作られています。

使用されている竹は、切り口が笑った顔に見える「笑い竹」を使用し、コロナなど大変な状況が続くなか、福を呼び、笑顔になれるようにと願いを込められています。

